

第2回「思わず笑顔になるコンテスト」について

追手門学院大学笑学研究所所員、副学長 真銅 正宏

昨年度、「青が散る」Award を発展的に継承して創設された「思わず笑顔になる文章コンテスト」が、本年度すなわち 2018 年度、さらに内容を充実すべく装いを新たにしました。回数こそ継承し第2回としましたが、これまでの「作文・エッセイの部」と「つぶやき」の部に「写真の部」を加え、三部から多角的に「笑顔」を追究する賞となりました。

資料2に掲げました詳細のとおり、本年度は、合計 8356 作品（昨年度 7891 作品）という、史上最多であった昨年をも上回る実に多くの応募がありました。

応募作品につきましても、いずれの部にも、文字通り「思わず」微笑んでしまうような心温まる作品が多く集まり、嬉しい悲鳴ながら、優秀作品の選定には苦労するような量と質でした。今年度も、本学のライティングセンターおよび当笑学研究所の全面的な協力体制の下、図書館を中心に、厳正な審査が行われました。

名誉審査委員長には、昨年同様、本学4期卒業生で、通天閣観光（株）代表取締役社長の西上雅章氏、名誉顧問には、これも昨年同様、笑学研究所設立にご尽力された、前学長の坂井東洋男氏に引き続きご就任いただいております。お二人は、我が笑学研究所の特別顧問でもあります。第一次審査につきましては、例年通り図書館職員で行いましたが、今年は新たな試みがありました。今年は、SJ（student job staff）すなわち、学生の力も借りて行った点です。図書館 SJ には「つぶやきの部」、ライティングセンター SJ には「作文・エッセイの部」のダブルチェックをお願いしました。これにより、学生たちに、大学の仕事の多様さを知ってもらえればと思います。

第二次審査および最終審査は、先にも少し触れましたとおり、追手門学院大学に設置されているライティングセンターの担当教員および当笑学研究所の所員により行われました。いずれもご多忙のなかでの献身的なご尽力でした。最終審査結果は、資料3のとおりです。表彰式は、2018年1月26日（土）13時から15時までの予定で、通天閣の STUDIO 210 にて開催されます。

笑学研究所は、大阪に所在する追手門学院大学にあって、大阪らしさと、その笑いの文化の伝統を、大学という場で進展させることの中心的役割を担っています。

この「思わず笑顔になるコンテスト」もこの追手門学院大学の笑いをめぐる活動の重要な一つです。このコンテストと笑学研究所は、追手門学院大学のミッションを共有しているわけです。応募作品を読み、また写真を眺めて、よりいっそう多くの人が「思わず笑顔になる」ことを心から願っております。

2018年1月11日



学校法人追手門学院創立130周年記念事業

追手門学院大学 通天閣観光(株)

たくさんの「笑顔作品」を募集します

第2回 思わず笑顔になるコンテスト

おいでい
追大と企業がプロデュースする
作文・写真のコンテストです。

主催: 追手門学院大学 共催: 通天閣
後援: HITACHI Inspire the Next FUJITSU
追手門学院校友会山桜会 追手門学院大学校友会

スマホ
からでも
簡単応募!

テーマ 「読めば 見れば みんながしあわせになる」

募集作品 作文・エッセイ(郵送・FAX可)/つぶやき:140字以内(郵送・FAX可)/笑顔になる写真(スマートフォン・web)

対象 小中高・大学生・一般 募集期間 2018年9月30日まで

主催:追手門学院大学 共催:通天閣観光株式会社
後援:株式会社日立製作所、富士通株式会社、追手門学院校友会山桜会、追手門学院大学校友会

資料 1-1 【チラシ1面】第2回思わず笑顔になるコンテスト



思わず笑顔になるコンテスト 募集要項

テーマ➡「読めば 見れば みんながしあわせになる」

募集作品➡

1. 作文・エッセイ: 原稿用紙400～600字以内(郵送・FAX可)
2. つぶやき: 140字以内(郵送・FAX可)
3. 笑顔になる写真:(スマートフォン・web) 40字以内

※パソコンの場合、一行20字に設定すること
 ホームページにて専用原稿用紙をダウンロードできます
 ※複数作品を応募される場合には作品数が分かるよう明記をしてください
 ※未発表のオリジナルの作品に限ります
 ※応募原稿は返却いたしません

対象➡

小・中・高校生、大学生
 (予備校生、専門学校生、短大生 などを含む)、一般

募集期間➡

2018年9月30日まで

■応募方法

ス マ ホ: 表面のQRコードから応募フォームにアクセスし、
 必要事項を記入して、ご応募ください

郵送・FAX: 応募用紙(本学ホームページにも掲載)に必要事項を記入し、
 下記までご郵送ください。E-mailでもご応募いただけます
 (メール本文に作品と応募用紙必要事項をご入力ください。
 セキュリティ上添付ファイルでは受付しません)

■応募/お問い合わせ

追手門学院大学図書館
 思わず笑顔になるコンテスト係

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2丁目1番15号
 TEL: 072-641-9638 FAX: 072-643-9786
 E-mail: egao@otemon.ac.jp
<https://www.ccile.otemon.ac.jp/egao/>

賞

最優秀作品賞 ➡ 賞状、および副賞(5万円相当)、後援企業からの副賞

優秀作品賞 ➡ 賞状、および副賞(2万円相当)、後援企業からの副賞

通天閣賞 ➡ 賞状、および副賞(1万5千円相当)、後援企業からの副賞

審査員特別作品賞 ➡ 賞状、および副賞(1万円相当)

佳作 ➡ 賞状、および副賞(5千円相当)

名誉審査委員長 西上雅章 (通天閣観光(株)代表取締役社長: 本学4期生)

名誉顧問 坂井東洋男 (本学前学長)

審査員 本学小・中・高・大学教員 など

審査結果発表 2018年12月中旬
 思わず笑顔になるコンテストのホームページ上で行うとともに、入賞者へ通知いたします

表彰式 2019年1月26日(土) 大阪通天閣STUDIO210(つうてん)

個人情報の取り扱いについて

応募者の個人情報につきましては厳重に管理をし、本企画で使用する他、追手門学院大学からの広報物をお送りする場合があります
 入賞作品の著作権は本学に帰属し、冊子・ホームページなどで公表予定





思わず笑顔になるコンテスト 応募用紙

該当するものにボールペンで印をつけ、氏名・住所などをご記入ください

【テーマ】「読めば 笑えば みんながしあわせになる」(楽しいこと・ほほえましいこと・ユウモアあふれること など)

【応募作品】1.□作文・エッセイ(400～600字以内) 2.□つづき(140字以内)

【応募区分】A.□追手門学院関係者(在校生・卒業生) B.□左記以外

1.□小学生 2.□中学生 3.□高校生 4.□大学生(予備校、専門学校含む) 5.□一般

【認知媒体】1.□チラシ 2.□ポスター 3.□ホームページ 4.□郵便物 5.□学校の課題 6.□その他()

しめい氏名

性別

ご職業

住所 〒 -

E-mail

電話

FAX

在学中の方はご記入ください

学校名 ()

学年 () 年 () 組

学部 ()

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校・短大・大学・大学院

主催:追手門学院大学 共催:通天閣観光株式会社 後援:日立製作所株式会社・富士通株式会社・追手門学院校友会・追手門学院大学校友会

追手門学院大学生のみ学番号 ()

『タイトル』

『』

0

100

200

300

400

500

600

700

800

900

1000

1100

1200

1300

1400

1500

1600

1700

1800

1900

2000

2100

2200

2300

2400

2500

2600

2700

2800

2900

3000

3100

3200

3300

3400

3500

3600

3700

3800

3900

4000

4100

4200

4300

4400

4500

4600

4700

4800

4900

5000

5100

5200

5300

5400

5500

5600

5700

5800

5900

6000

6100

6200

6300

6400

6500

6600

6700

6800

6900

7000

7100

7200

7300

7400

7500

7600

7700

7800

7900

8000

8100

8200

8300

8400

8500

8600

8700

8800

8900

9000

9100

9200

9300

9400

9500

9600

9700

9800

9900

10000

資料 1-3 【チラシ3面】 応募用紙

— 8 —



第1回 最優秀作品賞受賞作品

【作文・エッセイの部】

じんのパチパチ

(西宮市立南甲子園小学校2年)

南 七帆

2さいの弟のじんの目がはれました。たくさんめあにがついていて、しんばいになりました。びょういんに行つて、目ぐすりをもらいました。目ぐすりはきらいです。だから、だっこしてしつかりおさえつけました。目ぐすりをさしてすぐにお父さんが、「パチパチして」

と言つたら目じやなくて手をパチパチしていました。それを見たわたしは、かわいいなと思いました。そのときかぞくは大わらいしていました。

じんは、なんでわらっているんだろうと、ふしぎなかおをしていました。つぎの日も、目をパチパチしないで手をパチパチしていました。まいにち手をパチパチしていると、目はきれいになりました。わたしはよかつたなあとおんしました。

【つぶやきの部】

『平和な晩ご飯』

(追手門学院高等学校2年)

山本 優汰

いつもの家族全員での晩ご飯。

その日の料理はとんかつだった。

私は塩こしょうを手にとった。

衝撃だった。

賞味期限が一九九八年一月二日だった。

それはもはや我が家の化石である。

しかし、母が「新品があるで!」と教えてくれた。

私は一安心してそれを手に取った。

その賞味期限は二〇〇五年十月だった。



学校法人追手門学院創立130周年記念事業

追手門学院大学

通天閣観光株

第2回 思わず笑顔になるコンテスト

応募総数のご報告

平素は、追手門学院大学の活動に、ご理解とご協力を賜りまことにありがとうございます。
さて、第2回思わず笑顔になるコンテストの応募総数につきまして、下記のとおり報告いたします。
ご協力くださいました皆様に、心より御礼申し上げます。

追手門学院大学図書館・情報メディア部長 三上剛史

応募総数 第2回：8,356 作品

つぶやきの部	
小学校	143
中学校	664
高等学校	1,541
大学・大学院（※）	266
一般	1,005
合計	3,619

※短期大学・専門学校を含みます。

作文・エッセイの部	
小学校	855
中学校	960
高等学校	1,994
大学・大学院（※）	56
一般	118
合計	3,983

※短期大学・専門学校を含みます。

写真の部	
合計	754

二次審査：11月中旬 受賞者発表は12月中旬を予定しています。

2017年度応募総数・・・・・・・・・・7,891作品
 2016年度応募総数・・・・・・・・・・6,908作品
 2015年度応募総数・・・・・・・・・・6,620作品
 2014年度応募総数・・・・・・・・・・4,766作品
 2013年度応募総数・・・・・・・・・・5,114作品

2013～2016年度は、文章表現コンクール「育が散る」Awardとして実施しました。

主催 追手門学院大学・共賛 通天閣観光株式会社
 後援 株式会社白点製作所、富士通株式会社、田村製作株式会社、追手門学院校友会、追手門学院大学校友会

Copyright © 2018 OtomonGakuinUniversity. All Rights Reserved.

資料2 第2回応募総数（報告）